

2026年度 高校2年指導目標

1. 自他を認め、主体的に考えて行動できる生徒に

～社会・対人関係的要素～

- ・状況・立場を理解し、適切な言動ができる生徒（判断力・決断力）
- ・相手の気持ちを考え、思いやりをもって行動できる生徒
- ・しっかり自分の意見を伝えることができる生徒
- ・意欲をもって学校行事や諸活動、ボランティア活動に取り組むことのできる生徒

（リーダーの育成）

さまざまな活動に積極的に取り組ませ、経験や視野を広げ、学びを深めるとともに、光塩生徒として自分のまわりに喜びと光をまく人として将来社会に貢献できる人となることができるように指導していきます。その際には、まわりの状況を判断し、自分ができることをじっくり考えて行動できるようにクラスを越えたコミュニティー活動を実施していきます。

2. 進路を見据えた学習への取り組み ～知的能力的要素の育成～

- ・自分の進路に向けての情報収集、明確な目標設定
- ・基礎学力の定着と主体的な学びの促進
- ・オープンキャンパスへの参加や模擬試験、検定などへの積極的なチャレンジ

進路実現のために何が必要なのか、今取り組むべきことは何なのかをじっくり考えさせ、自分にとって適切な進路選択ができるよう進路を見据えた学習をさせていきます。また、早めに行動に移せるようにしっかり指導していきます。さらに、家庭でも進路について話をするように呼びかけ、保護者との連携を密にとることで、生徒一人ひとりの進路実現に向けてサポートしていきます。

3. 基本的な生活習慣を身につける ～自己制御的要素～

- ・自主的にあいさつや掃除ができるようになる
- ・身の回りの整理整頓ができるようにする
- ・校則や約束、時間を守る
- ・効果的な計画の立て方、時間の使い方を工夫する

「当たり前のことができる」生徒、常識ある行動のできる人の育成をめざし、きめ細かな指導をしていきます。計画の立て方や時間の大切さを教え、約束や期限を守らせることで充実した学校生活を送ることができるようにしていきます。

4. 教員としての生徒との関わり方

- ・生徒一人ひとりと真摯に向き合う
- ・保護者との関わり・連携を大切にする
- ・教師間で協力して、目標の達成に努める

学年全体で情報を共有し、状況に応じては、関係組織とも連携をとりながら協力して指導にあたり、生徒・保護者とよい信頼関係を築いていきます。生徒が充実した学校生活を送るために、一人ひとりの課題に向き合いながら支援していくことを大切にしていきます。

4つの重点目標を軸に1年間、生徒も教員も高い意識をもって学校生活を過ごしていきます。